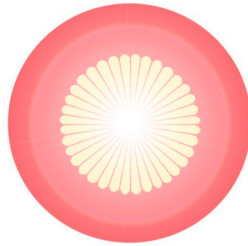


2011年3月1日

◎根源エンブレム神事◎

江の島レポート



昨年の9月、江の島に根源エンブレムのエネルギーを降ろし、
根源かー神界へつなげるミッションを私ができるとのことで、
江の島で神事を行い、太陽神界のエネルギーを流したのですが、
その時はプレという感じてしたので、またいつか行こうと思っていました。

ちょうど、宗像プロジェクトの始まりの時でした。

そして、このタイミングで根源エンブレム神事を行う流れになりました。

事前にAi先生から、

「トータルでは 根源エンブレム神事になると思いますが、
より白のエネルギーが強化されると思います。」
とコメントをいただいていた。

江島神社は、宗像三神を祀っており、竹生島、宮島と並んで、
日本三大弁天とも言われています。
江の島は、龍の伝説があり、修験の場でもあつたところです。

前回行ったときに、だいぶクリアに明るく軽くなったようで、
その後水から光へ、宗像も根源に戻った流れと、
みなさまの一連の神事の動きもあり、今回はすでにエネルギーが
整っていた感じもします。



当日は、一面真っ白の、神界のフォトンに包まれていました。
光を感じる曇り空です。



辺津宮

器となること、ポータルとなること、それは、
そうなるうとして自分の内に意識を集中したり、からつぽになることではなくて、
自ら発動し、エネルギーがつながり、共鳴、共振することで、
器としてそのエネルギーを流せるのだ、と改めて感じました。



終始、穏やかで和やかで楽しくて、それが自然、ということが幸せな空間。

河津桜が可憐に満開で、美しかったです。

その時はとても自然体でその空間と時空が当たり前のように感じて、
後から思うと、とても神聖な場が創られていたと思うことがよくあります。

今回も、鳥居から出た瞬間にそう感じました。



中津宮

前回ほど、宗像三神のエネルギーは感じず、根源エンブレムに
すべて集約され、根源エンブレムのもとにすべてがあるので、

それでよし、と中今にフォーカスしていました。

歩きながら、瞑想しながら、子供の手を引きながら。



奥津宮を目指して、島の奥に向かいます。

途中、とてものどかで、時空が巻き戻っている感覚もあり、
こんな日は人もまばらで、ここが観光地の江の島とは思えない雰囲気。



奥津宮

ひとときわたくし神聖な場所でした。太陽のシャンバラのエネルギー？

光の竜宮城？ のよう。不思議なエネルギー。



庭園の入り口にジンチョウゲ。
暖かく懐かしい記憶を呼び覚ますような香り。
かーさまを感じてうれしくなりました。



亀の甲羅の石。

このあたりはエネルギーが強く、再生し、光となり、
新たに動き出すエネルギーの象徴のようでもありました。
亀の背中に乗って竜宮城に飛んでいかれる?! そんな想いもよぎりました。

奥津宮に着いてからは特に、ずっとうるうるしていました。
根源天照カーさまのエネルギーをずっと感じていました。

やさしくて、幸せな気持ちでした。
じんわりと、胸が暖かくて、とても居心地の良い、
満たされた想いです。

ただただ、愛がすべてをつないでいく。
愛が根源へつないでいく。
愛によって、根源カーさまと結ばれている。

ただただ、愛なんだなあ、と確かに感じていました。

根源エンブレムは、愛そのものでした。
根源エンブレムは、愛によって共鳴し、広がっていきました。
根源エンブレムそのものの中に、
包まれているようでした。それが愛でした。

カーさまの大きな愛でした。

すべてはそれでいいんだなあ、と、胸の辺りが、
すーっと軽くなってフォトンで満たされているような感覚でもあり、
器として、エネルギーが通っているようでした。



島をぐるつと回って帰る道すがら、
海に行く一艘の船。

一層白くなっていく空、空気。

白い中にも、繊細な金が溶け込んでいて、
根源エンブレムの赤のエネルギーも内包していました。



空にも船。

雲の中にも隠れていました。

さらにエネルギーは軽くなり、足取りも軽くて、
時間もぴったり、終わったらぱらぱらと雨模様になってきました。

ゆらもるりも、ベイビーも、それぞれのエネルギーで
サポートし合いながら、この場を創っていたと思います。



根源エンブレムは、神聖な愛そのもの。
静かに、確実に、エネルギーは伝わっていく。

ただ、愛になる。
ただ、愛を放つ。
ただ、愛でいる。

その愛の光は、灯台となり、すべてを照らす。
その根源エンブレムの光は、灯台となり、根源へと導く。

その実感に、じんわりと満たされました。

Ai先生からは、
「3.1は、やはり神聖な女性性、
愛と光のスタートという重要な起点であると思います。
重要な連動ですね!!! *^^*///」
とコメントをいただきました。

どうもありがとうございました。

リタ